

平成 26 年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業

手 引 き

グローバル時代における愛媛

～世界各地で展開されている試みと地元～

自 　　　： 平成 26 年 9 月 1 日（月）

至 　　　： 平成 26 年 9 月 4 日（木）

予備日 　： 平成 26 年 9 月 5 日（金）

場 所 　： 松山大学844番教室

当番大学 　松山大学・松山短期大学、

参加大学 　愛媛大学、聖カタリナ大学、聖カタリナ大学短期大学部、

愛媛県立医療技術大学、松山東雲女子大学、

松山東雲短期大学、今治明德短期大学、

環太平洋大学短期大学部、放送大学愛媛学習センター

平成26年度 大学コンソーシアムえひめ共同授業 シラバス

科目番号	
授業科目の区分等	それぞれの大学によって位置づけは異なる
対象学生	愛媛県内にある大学のすべての学部・短期大学の全学年対象
授業形式	集中講義
開講時期	平成26年9月1日(月)～9月4日(木) 但し、平成26年9月5日(金)は予備日とする。
授業題目	グローバル時代における愛媛 ～世界各地で展開されている試みと地元～ Ehime in the time of glocalism
担当教員	上野恭子(Ueno, Kyoko)、氏兼惟和(Ujikane, Yoshikazu)、野崎賢也(Nozaki, Kenya)、玉内秀一(Tamauchi, Hidekazu)、土井美智子(Doi, Michiko)、富田英司(Tomida, Eiji)、一色玲子(Isshiki, Reiko)、後藤由佳(Goto, Yuka)、高橋圭三(Takahashi, Keizo)、吉川研一(Yoshikawa, Kenichi)、柳原剛司(Yanagihara, Tsuyoshi) (担当順)
授業のキーワード	グローバル(global)、ローカル(local)、グローカル(glocal)、異文化理解(cross-cultural understanding)、地場産業(the local industry)、広域市場(broader market)、過疎化(depopulation)、頭脳流出(a brain drain)、貧困と社会福祉(poverty and social welfare)
授業の目的	地球規模で考える視野や関心の広さ、ならびに、地元の現象をそれと関連づけて捉える態度を身につける。 1. 世界に開かれた興味・関心を持つ。 2. 地元の抱える問題とこれからの可能性について考える。 3. 世界各地の実践例から、地元の今後を考える際のヒントを得る。 4. 世界各地の問題を、自分に引きつけて考える態度を身につける。
授業の到達目標	1. 地元の実践を、世界の中で捉える知的態度を身につける。 2. 世界各地の実践を、他人事としてでなく、地元などに引きつけて捉える姿勢を身につける。 3. 現在抱えている問題点や今後の展望などに関して、共に悩み共に希望するというように、世界各地と連帯する。
授業の概要	「グローバル」と「ローカル」をキーワードとして、愛媛県内11大学が共同で授業を開講します。各大学の教員の専門領域を生かして共同で授業を行い、他大学の学生とともに松山大学で受講します。世界と地元は決して切れてはいけません。問題の捉え方次第では、きわめて関連が強いことがあります。世界各地の抱える問題と、地元の問題を関係づけて捉え、考える姿勢を身につけましょう。
授業スケジュール	90分を1コマとする以下の15コマの授業が、4日間の集中講義(5日目は予備日)の形態で実施される(場所:松山大学)。 開講時間:1時限目:9:00～10:30、2時限目:10:45～12:15、3時限目:13:15～14:45、4時限目:15:00～16:30 9月1日(月)10時:ガイダンス【松山大学 准教授 渡邊孝次】 9月1日(月)2時限目(1コマ):バングラデシュ農村部での母子保健活動におけるグローバルな支援について【愛媛県立医療技術大学 准教授 上野恭子】 9月1日(月)3、4時限目(2コマ):愛媛から世界へ～進化する愛媛の産業・企業～【松山短期大学 教授 氏兼 惟和】 9月2日(火)1、2時限目(2コマ):グローバルな食、ローカルな食【愛媛大学 准教授 野崎賢也】 9月2日(火)3時限目(1コマ):食べなきゃ損!愛媛の食～免疫学の視点から～【愛媛県立医療技術大学 教授 玉内秀一】 9月2日(火)4時限目(1コマ):『生活者としての外国人』を考える』-ボランティア夜間日本語教室をとおして地方の国際化を考える-【今治明德短期大学 講師 土井美智子】 9月3日(水)1、2時限目(2コマ):異文化環境でのコミュニケーションを通して分かりやすい説明の本質を学ぼう【愛媛大学 准教授 富田英司】 9月3日(水)3時限目(1コマ):地域の特性を活かした幼児教育【聖カタリナ大学短期大学部 助教 一色玲子】 9月3日(水)4時限目(1コマ):西アフリカ・マリ共和国における造形美術と子ども【環太平洋大学短期大学部 講師 後藤由佳】 9月4日(木)1時限目(1コマ):南オーストラリア州アデレードの障がい児者支援【松山東雲女子大学 准教授 高橋圭三】 9月4日(木)2時限目(1コマ):世界のファッション・日本のファッション【松山東雲短期大学 教授 吉川研一】 9月4日(木)3、4時限目(2コマ):小国ハンガリーの抱える諸問題【松山大学 准教授 柳原剛司】 9月5日(金):予備日
授業時間外学習にかかわる情報	予習・復習が必要である。「手引き」に従って予習を行う。また、授業で課されるレポートを期限内に提出する。
受講のルール	出席が授業開講時間数の3分の2以上なければ評価しない。 授業後のレポートなどの提出が課された場合には、期限・提出方法を厳守し、必ず提出すること。 授業時間毎に配布される「出席カード」に記入し必ず提出すること。但し、授業開始から15分で出席カードを回収し、それ以降の出席者については、「別の出席カード」を配布し、テスト又はレポートに添付して提出する。 「出席カード」の提出がない場合には、レポートの提出があっても0点とする。
教材に関わる情報	各大学にて事前に「手引き」(7月下旬配布予定)を受領すること。授業中にも、適宜資料等が配付される。
評価にかかわる情報	授業中のテスト又は授業後のレポートにより評価される。 1コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は100点満点、同一教員が連続して2コマの授業で評価を行う場合のテスト(又はレポート)は200点満点とする。計15コマの点数を合計(1500点満点)し、その結果を100点満点に換算して成績評価とする。
台風の際の取り扱い	台風による特別警報・暴風警報が、午前7時の時点で松山市に発令された場合は午前中の授業は中止とする。11時の時点で特別警報・暴風警報が解除になれば午後の授業は行う。11時の時点で松山市に発令されていれば午後の授業は中止とする。但し、松山以外の県内の一部地域に上記警報が発令された場合で、<所属>大学所在地と学生の住所が共に発令地域内にある場合は、講義回数に含めない。学生の住所のみが発令地域内にある場合は、その旨を本人が所属大学に申し出れば、講義回数に含めない扱いをする。逆に、<所属>大学の所在地が発令地域内にあっても、学生の住所が発令地域の外にある場合は、学生は授業に出席しなければならない。最後の点には注意を要する。 松山大学及び各々の学生が所属する大学に問い合わせても答えられないため、個々でNHKニュース、気象庁のホームページ(事前に配布される「手引き」参照)など、公的な機関からの情報を得ること。 中止された授業は、予備日の9月5日(金)に実施する。なお、開講時限はそのままとする。
その他	愛媛県内11大学が共同で授業を実施する。各大学の教員による様々な側面からの授業を松山大学で受講できる。さらに、他大学の学生とのグループディスカッションや交流をもつ機会となる。

平成26年度大学コンソーシアムえひめ共同授業日程表

メイン・テーマ： グローカル時代における愛媛 ～世界各地で展開されている試みと地元～

場 所： 松山大学 844番教室 平成26年9月1日(月)～9月4日(木)・予備日 9月5日(金)

	9				10				11				12				13				14				15				16	
	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30	45	0	15	30
9月1日 (月)			受付		ガイダンス		休憩		講義1 バングラデシュ農村部での 母子保健活動における グローバルな支援について 愛媛県立医療技術大学 上野 恭子 先生			休憩		講義2 「愛媛から世界へ」 ～進化する愛媛の産業・企業～ 松山短期大学 氏兼 惟和 先生			休憩		講義3 「愛媛から世界へ」 ～進化する愛媛の産業・企業～ 松山短期大学 氏兼 惟和 先生											
9月2日 (火)			講義4 グローバルな食、ローカルな食 愛媛大学 野崎 賢也 先生				休憩		講義5 グローバルな食、ローカルな食 愛媛大学 野崎 賢也 先生			休憩		講義6 食べなきゃ損！愛媛の食 ～免疫学の視点から～ 愛媛県立医療技術大学 玉内 秀一 先生			休憩		講義7 『「生活者としての外国人」を考 える』—ボランティア夜間日本語教室 をととして地方の国際化を考える— 今治明德短期大学 土井 美智子 先生											
9月3日 (水)			講義8 異文化環境でのコミュニケーショ ンを通して分かりやすい説明の 本質を学ぼう 愛媛大学 富田 英司 先生				休憩		講義9 異文化環境でのコミュニケーショ ンを通して分かりやすい説明の 本質を学ぼう 愛媛大学 富田 英司 先生			休憩		講義10 地域の特性を活かした幼児教育 聖カタリナ大学短期大学部 一色 玲子 先生			休憩		講義11 西アフリカ・マリ共和国における 造形美術と子ども 環太平洋大学短期大学部 後藤 由佳 先生											
9月4日 (木)			講義12 南オーストラリア州アデレードの 障がい児者支援 松山東雲女子大学 高橋 圭三 先生				休憩		講義13 世界のファッション・ 日本のファッション 松山東雲短期大学 吉川 研一 先生			休憩		講義14 小国ハンガリーの抱える諸問題 松山大学 柳原 剛司 先生			休憩		講義15 小国ハンガリーの抱える諸問題 松山大学 柳原 剛司 先生											

大学別受講者数一覧

大学名	収容定員	受講定員	申込者数
愛媛大学	7,506	90	22
松山大学	5,620	70	16
松山短期大学	200	10	17
聖カトリック大学	792	10	34
聖カトリック大学短期大学部	200	10	5
松山東雲女子大学	460	10	12
松山東雲短期大学	580	10	13
愛媛県立医療技術大学	360	10	50
今治明德短期大学	300	10	1
環太平洋大学短期大学部	200	10	0
放送大学愛媛学習センター	若干名	若干名	0
合 計	16,218	240+ α	170

講義題目及び担当講師

講義1	バングラデシュ農村部での母子保健活動におけるグローバルな支援について	愛媛県立医療技術大学 准教授 上野 恭子
講義2	「愛媛から世界へ」	松山短期大学 教授 氏兼 惟和
講義3	～進化する愛媛の産業・企業～	
講義4	グローバルな食、ローカルな食	愛媛大学
講義5		准教授 野崎 賢也
講義6	食べなきゃ損！愛媛の食 ～免疫学の視点から～	愛媛県立医療技術大学 教授 玉内 秀一
講義7	『「生活者としての外国人」を考える』 -ボランティア夜間日本語教室をとおして地方の国際化を考える-	今治明德短期大学 講師 土井美智子
講義8	異文化環境でのコミュニケーションを通して分かりやすい説明の本質を学ぼう	愛媛大学
講義9		准教授 富田 英司
講義10	地域の特性を活かした幼児教育	聖カタリナ大学短期大学部 助教 一色 玲子
講義11	西アフリカ・マリ共和国における造形美術と子ども	環太平洋大学短期大学部 講師 後藤 由佳
講義12	南オーストラリア州アデレードの障がい児者支援	松山東雲女子大学 准教授 高橋 圭三
講義13	世界のファッション・日本のファッション	松山東雲短期大学 教授 吉川 研一
講義14	小国ハンガリーの抱える諸問題	松山大学
講義15		准教授 柳原 剛司